

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
埼 玉 大 学

目 次

資料 1-1-1	世界環流プログラム概略図	1
資料 1-1-2	全学 FD ガイドライン	2
資料 1-1-3	授業ハンドブック(抜粋(表紙・目次))	2
資料 1-1-4	世界を翔ける概要等	2
資料 1-1-5	社会調査士関連科目と開講科目	3
資料 1-1-6	RA 採用通知文書	4
資料 1-2-1	アドミッション・ポリシー (HP 掲載・抜粋)	5
資料 1-2-2	アドミッション・ポリシー (大学案内掲載)	5
資料 1-2-3	早期卒業規則	6
資料 1-2-4	埼玉大学成績優秀者奨学金規則(抜粋)	7
資料 1-2-5	奨学生証書授与式の様子(抜粋)	7
資料 1-2-6	埼玉大学発展基金による成績優秀者 奨学金の取扱いについて(抜粋)	7
【不開示】	資料 2-2-1 平成 20・21 年度共同研究・受託研究 受入件数・金額等	8
	資料 3-1-1 教員免許状更新講習パンフレット (抜粋)	9
【不開示】	資料 3-1-2 教員免許状更新講習受講者数・開講 本数	9
【不開示】	資料 3-1-3 埼玉大学共生社会教育研究センター 所蔵資料に関する覚書	10
	資料 3-1-4 本学との協定に関する国際協力銀行 プレスリリース(抜粋)	11

資料 1 - 1 - 1 世界環流プログラム概略図

この部分は著作権の関係で掲載できません。

（出典：「埼玉大学ホームページ」）

資料 1-1-2 全学FDガイドライン

全学FDガイドライン

平成20年12月18日
全学教育企画室了承

埼玉大学では、FDの一環として、平成15年度から全学で「学生による授業評価」調査を、平成14年度から工学部を中心にFDシンポジウムを実施してきました。学生、教職員の協力のもとに行われてきたこれらのFD活動を、教員個々の授業技能の向上につなげ、教育力を向上させていくことが現在喫緊の課題となっています。この課題を達成するための第一歩として、学生と教職員ならびに教員相互のコミュニケーションを活発にしてゆく目的で、この「全学FDガイドライン」を制定します。

1. 授業評価アンケートに関する指針

学部FD委員会等は、学期毎に実施される学生による授業評価結果を（4～5年）毎に分析し、その結果を公表する。

各教員は、授業評価結果や自己の反省などにもとづいて、次年度における授業改善計画を作成し、教員活動報告書等に記述する。

2. 授業技能向上に関する指針

学部FD委員会等は、学生による授業評価が数年間（3～4年）著しく低い教科の担当教員に対してヒアリングをおこない、その授業技能向上に向けての改善計画をたて、実施させることができる。

3. FD活動に関する情報の交換に関する指針

全学教育企画室は、全学のFDに関する情報を共有・交換するため、全学FD研究会を年に2回開催する。

学部FD委員会等は、FDシンポジウムあるいは公開討論会（フォーラム）を年1回開催する。

学部FD委員会等は、関係者すべてが正確・最新の情報を共有ならびに交換できるよう、自学部のFD活動をホームページ（Web）等で公開する。

4. 授業マニュアルの作成に関する指針

全学教育企画室は、全学FD研究会の協力のもと、教員が授業を行う際に最低限守るべきマナーおよび励行すべき事例をリーフレットとして作成し教員に配布する。また、数年毎に内容の更新を行う。

5. 教員相互の授業参観（オープンクラス）に関する指針

学部FD委員会等は、学部ごとに授業公開期間を設ける。その期間、教員は授業を参観できる。

6. 教員に対する研修活動参加要請に関する指針

学部FD委員会等は、学部の全教員に対し、本学内外で開催される授業参観、FDシンポジウム等のFD活動への参加を要請することができる。特に、本学若任間もない授業経験の少ない教員に対しては、着任後2年間を目処に、強く要請することができる。

資料 1-1-3 授業ハンドブック（抜粋（表紙・目次））

教員用
授業ハンドブック

2009（平成21）年度版

埼玉大学全学教育・学生支援機構
全学教育企画室

資料 1-1-3 授業ハンドブック（抜粋（表紙・目次））

目次

埼玉大学教員の皆様へ	1
1. 授業の流れ	2
2. シラバス作成	3
3. シラバス作成の手引	5
4. 初回の授業と学生の履修登録手続き	9
5. 履修者名簿等の提供	14
6. 「エクセルによる成績管理プログラム」について	15
7. 適正な授業回数の確保等について	16
8. 学生による授業評価調査	17
（参考）平成20年度後期「学生による授業評価」調査実施要項	18
9. 期末試験	20
（参考）埼玉大学期末試験等実施・監督に関する申し合わせ	21
（参考）埼玉大学期末試験等受験者心得	23
10. 成績報告の時期と方法	24
11. GPAについて	26
12. 成績評価の再確認依頼に対する対応	27
13. 教員オフィスアワー	28
14. 非常勤講師の提出書類と来校の確認	29
15. 非常勤講師控室等の利用	31
16. 教室における各種機器の利用	32
17. ティーチング・アシスタント（TA）制度	32
18. ティーチング・アシスタント（TA）学生の手続き	33
（参考）学修等の相談	34
（参考）埼玉大学のユニークな全学教育の取組	36
（参考）埼玉大学の基本方針	41
（参考）大学教育・授業に関する参考文献紹介	43
（参考）全学教育・学生支援機構 全学教育企画室の活動紹介	44

テーマ教育
プログラムで
学部横断

資料 1-1-4 世界を翔ける概要等

テーマ教育
プログラム◎
テーマ
（テーマ教育プログラム）

世界を翔ける

概要

現代の国際社会では、一国や特定地域でおきた経済、社会的混乱が未だかつてない速さで世界全体に広がり、よその国の出来事と片付けられない状況となっています。「貧富の格差拡大」「地球環境の悪化」「食糧やエネルギーの不安」など多くのグローバルな課題は特に脆弱な途上国の国々を苦しめています。本プログラムでは、21世紀を担う学生諸君が、世界や日本を舞台に、日本人であると同時に地球市民としてさまざまな活動が行えるよう、これらの課題についての正しい理解を持つことを支援します。

そのために国際政治、国際経済、貿易や途上国の課題やそれを支援する援助の状況、地球環境問題などについて基礎から学びます。これらの学習により、より多くの学生が、卒業後の進路として世界で活躍していくことが期待されます。

目的

グローバル化の進展により、情報のもと、資源、資金、人材、環境とあらゆる物、事象が国境を越えて大きく影響しあう現代において、国際社会の抱える多様な課題を理解し、行動することのできる人材育成（社会人）のためのコースです。

数年後には社会に出る学生が、私たちの日常生活にも大きく影響を及ぼす世界経済や、政治、国際社会が抱える課題などにつき基礎知識を身に付け、内向きになることなく、よりダイナミックな視点で、国内外で活躍してもらうための教育プログラムです。

こんな学生に
受講して欲しい

幅広い教養を身につけ、地球市民としてさまざまな活動を行うことを希望するみなさんの参加を待っています。

受講にあたっての
留意点

「開発の概念」「開発援助概論」等を含む開発関連科目10科目、自然系科目3科目より構成されています。履修の順序は特に指定していませんが、プログラム修了認定のためには合計20単位以上を修得する必要があります。

（出典：平成21年4月版「テーマ教育プログラム
特別教育プログラム」パンフレットP5

資料 1 - 1 - 5 社会調査士関連科目と開講科目

社会調査士の資格について

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する「調査の専門家」のことです。

社会調査士の資格は、一般社団法人社会調査協会の定めに基づいて本学が設置している調査に関する 5 科目と社会調査実習 1 科目を単位修得することで卒業時に申請によって取得できます。卒業時に社会調査士資格を取得見込みの者には社会調査士資格見込証明書が発行されます。

社会調査士の資格に必要な科目・単位は、次の通りです。

社会調査士資格に関する科目		本学開設授業科目名	単位数	開講学部
A	社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査法Ⅰ	2	経済学部
		社会環境設計論A・社会調査		
B	調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法Ⅱ	2	教養学部
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	統計学Ⅰ	2	経済学部
		統計入門		
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	統計学Ⅱ	2	経済学部
		数理統計特講		
E	量的データ解析の方法に関する科目	データ解析実習	2	教養学部
F	質的な分析の方法に関する科目			
G	社会調査の実習を中心とする科目	社会調査実習	2	教養学部

- 1) 本学開設授業科目名欄が上段と下段に分かれている場合には、上段は教養学部学生向け開講科目名、下段は経済学部学生向け開講科目名をそれぞれ表しています。分かれていない場合には、教養学部の開講科目名を表しています。
- 2) 「社会調査実習」はA～Dの4科目を単位修得した者のみ履修することができます。
- 3) 履修その他の諸手続きについては、掲示します。

資料 1 - 1 - 6 RA採用通知文書

平成21年7月28日

各コース長 殿

理工学研究科長
水 谷 忠 良

平成21年度リサーチ・アシスタントの採用について(通知)

このことについて、7月10日開催の理工学研究科代議員会で承認いただきました博士後期課程充実のための方策として、下記区分によりRAを採用することとしましたのでお知らせします。

下記区分に該当する学生は、別紙名簿のとおりです。

(相違する場合は、理工学研究科総務係迄ご連絡願います。)

つきましては、別紙「平成21年度リサーチアシスタント(RA)について」により必要書類をご提出願います。

なお、下記に示した限度額の執行に際してはその趣旨を踏まえ、適正かつ効果的な運用がなされますよう十分配慮くださるようお願いいたします。

記

(平成21年度RA時間単価 1,510円)

	区分	賃金 (年間限度額)	労働時間 (年間限度時間数)
1	一般学生(授業料半額免除者等を含む)	551,150円	365時間
2	授業料全額免除者(通年)	250,660円	166時間
	奨学金受給者	250,660円	166時間
	理研IPA(連携国際スクール学生)	250,660円	166時間

※ 注1 下記の学生は、今年度RA採用対象外です。

- ・ 国費留学生
- ・ 社会人
- ・ 留年生
- ・ 休学者
- ・ 日本学術振興会特別研究員
- ・ 理研JRA(ジュニア・リサーチ・アシスタント)

※ 注2 授業料全額免除者(通年)は、現時点では確定していないため、今回の採用計画では前期授業料が全額免除され、かつ後期免除申請予定「有」の学生を同区分の該当見込者として取扱います。なお、該当見込者のうち、後期分の選考結果(12月)が不許可となった場合には採用計画書及びパート教職員個人票の変更の申し出が必要となります。
(年間限度時間数166H→365H)

※ 注3 別紙名簿の入学区分欄は入学時のデータで分類しているため、記載されている入学区分が1進学・2一般の場合は、RA区分欄が1又は2となっている方がおりますが、現在「社会人」の方については、改めてRA採用対象外になりますので、現況の確認をお願いします。

資料 1-2-1 アドミッション・ポリシー (HP掲載・抜粋)



入学受入の方針【大学院課程】

[学士課程はこちら](#)

埼玉大学大学院課程の「入学受入れの方針」

1. 埼玉大学における「大学院課程の学位授与の方針」を十分に理解した意欲ある学生を募ります。

「大学院課程の学位授与の方針」:

各研究科における人材養成の目的に合致した学力、資質と能力を獲得したものに修士号、博士号の学位を授与します。

2. 入学試験では、埼玉大学における「大学院課程の教育課程編成・実施の方針」に基づいた教育を受けることが可能な学力・能力を備えた学生を選抜します。

「大学院課程の教育課程編成・実施の方針」:

適切な教育課程を編成し、標準修業年限を目標にして学生が「学位授与の方針」にかなう学力や資質と能力を獲得できる高度な教育を実施します。

3. 修士課程(博士前期課程)では、学士課程で専門分野の基礎的教育を十分に修得した学生を受入れます。また、大学の国際化・国際貢献という観点から留学生を積極的に受入れるほか、各研究科の方針に基づき、学士課程で他分野を修得した学生の受入れ、研究能力を高めようとする現職社会人の受入れにも配慮します。

4. 博士課程(博士後期課程)では、各研究科の方針に基づき、高度な専門的知識・能力を備えた修士課程(博士前期課程)修了者のほか、専門的知識・能力を持ち高度専門職業人として実績のある社会人および留学生を受け入れます。

埼玉大学大学院の各研究科では、それぞれ求める入学希望者を明確にしています(詳細は各研究科の「求める入学希望者」をご覧ください)。

各研究科の求める入学希望者

[文化科学研究科](#)

[教育学研究科](#)

[経済科学研究科](#)

[理工学研究科](#)

(出典:「埼玉大学ホームページ」)

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/policy/graduate.html>

資料 1-2-1 アドミッション・ポリシー (HP掲載・抜粋)

文化科学研究科の求める入学希望者

修士課程

1. 専門的な研究能力を養うことを目指す学生
2. 専門職業に従事する能力を高めることを目指す学生

博士後期課程

社会人

1. 文化行政、文化界などの分野で実務経験を有している方
2. 専門性をよりいっそう深め、共生社会・文化振興に寄与する意欲のある方
3. 入学後に取り組む博士論文のテーマについての問題意識・研究能力を十分持っている方

一般

1. 文化行政、文化界などの分野での就職を希望している方
2. 専門性をよりいっそう深め、共生社会・文化振興に寄与する意欲のある方
3. 入学後に取り組む博士論文のテーマについての問題意識・研究能力を十分持っている方

留学生

1. 本国で日本語の教師になる希望を持っている方
2. 日本文化研究をより専門的に深める希望を持っている方
3. 入学後に取り組む博士論文のテーマについての問題意識・研究能力を十分持っている方

[文化科学研究科「受験生のみなさんへ」のページへ](#)

教育学研究科の求める入学希望者

修士課程

研究科学校教育専攻、特別支援教育専攻、教科教育専攻は、人間・社会・自然に関する広い視野を保ちながら、学校教育に関わる理論的かつ実践的な研究と教育を行うことにより、わが国の教育水準の向上に必要な専門的知識及び研究能力を豊かに備えた人材を育成することを教育研究上の目的とする。

[教育学研究科「受験生のみなさんへ」のページへ](#)

(出典:「埼玉大学ホームページ」)

<http://www.saitama-u.ac.jp/entrance/policy/graduate.html>

資料 1-2-2 アドミッション・ポリシー (大学案内掲載)

■埼玉大学 学部アドミッション・ポリシー

学 部	学科・課程	入学定員 (詳細:38ページ)	在学者数 平成30年5月1日現在	教員数 平成30年7月1日現在
■ 教養学部 (詳細:7ページ)	教養学科	160	830(509) 39(22)	56
■ 教育学部 (詳細:9ページ)	学校教育教員養成課程	458	2,028(1,088) 6(4)	118
	養護教諭養成課程	22	76(76) 1(1)	
■ 経済学部 (詳細:11ページ)	(経済・経営・社会環境設計) 展開コース1年次のみ		299(90) 14(6)	
	経済学科(昼) / (夜) 2~4年	100/20	353(76) 7(4)	90(17) 0(0)
	経営学科(昼) / (夜) 2~4年	100/20	387(105) 37(14)	107(48) 0(0)
	社会環境設計学科(昼) / (夜) 2~4年	80/10	289(101) 0(0)	55(23) 0(0)
■ 理 学 部 (詳細:13ページ)	数学科	40	186(23) 2(1)	
	物理学科	40	170(30) 3(0)	
	基礎化学科	50	206(59) 7(5)	
	分子生物学科	40	169(52) 4(3)	
	生体制御学科	40	177(68) 2(0)	
■ 工 学 部 (詳細:15ページ)	機械工学科	95	438(107) 29(4)	213
	電気電子システム工学科	77	343(7)	
	情報システム工学科	57	284(177) 7(5)	
	応用化学科	63	304(41) 7(5)	
	機能材料工学科	48	216(19) 8(4)	
	建設工学科	75	343(41) 7(3)	
	環境共生学科	25	25(4)	

(出典:「埼玉大学案内2010」P4-5)

() 内は女子で内数。色数字は外国人留学生で外数。

資料 1-2-2 アドミッション・ポリシー (大学案内掲載)

入学時に求める学生像	22年度入試の対象
1. 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、さらに自らを高める意欲がある人	一般入試
2. 様々な地域・時代の人々およびその文化に関心と敬意を措ける人	帰国子女入試
3. 入学後の学修の基礎となる、英語をはじめとする外国語を修得する意欲のある人	中国引揚者等子女入試
	私費外国人留学生入試
1. 乳幼児・児童・生徒の個性を伸ばし、生きる力をはくむ取組への意欲がある人	一般入試
2. 自ら学ぶとする学習意欲があり、諸問題に柔軟に対応できる基礎学力と幅広い教育に対する問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人	ただし、英語専修、社会専修、保健体育専修は前期日程のみ
3. 各課程、専修の専門分野に関する専門的な知識・技能を、理論と実践の両面にわたって修得するために必要な、諸教科の学力や実技能力を有している人	推薦入試
4. 周囲とのコミュニケーション能力を持ち、協調性があり豊かな人間性を備えている人	総合教育科学専修、コラボレーション教育専修、乳幼児教育専修、特別支援教育専修、国語専修、社会専修、美術専修、保健体育専修、家政専修、看護学専修養成課程
	中国引揚者等子女入試
	私費外国人留学生入試
1. 国内外のさまざまな問題に対して、旺盛な好奇心や知的関心をもっている人	一般入試
2. 幅広い教養と社会科学の専門的知識を身につけて、社会に貢献したいと考えている人	帰国子女入試
3. 自らの知識や経験を生かして、生涯にわたり自分自身をさらに発展させようと考えている人	中国引揚者等子女入試
	私費外国人留学生入試
	推薦入試(学校長推薦)
	社会人向け推薦入試(所長推薦)
	社会人入試
	一般入試
1. 自然科学に特に関心があり知的好奇心が旺盛な人	推薦入試
2. 自然科学の様々な分野で社会に貢献することを望んでいる人	基礎化学科のみ
3. 大学院に進んで高度な研究能力を養い、高度専門職業人や研究者になりたいと考えている人	帰国子女入試
	基礎化学科のみ
	中国引揚者等子女入試
	私費外国人留学生入試
	一般入試
1. 本学部における教育を履修する上で必要な数学、理科、英語等の基礎学力を有している人	推薦入試
2. 国際的なプレゼンテーションやコミュニケーション能力を修得するために必要な基礎学力を有している人	情報システム工学科、応用化学科、機能材料工学科、建設工学科、環境共生学科
3. 獲得した知識を有効に利用して論理的思考による問題解決ができる人	帰国子女入試
4. グローバルな視点に立つ国際社会に貢献する意欲のある人	中国引揚者等子女入試
	私費外国人留学生入試

(出典:「埼玉大学案内2010」P4-5)

○ 国立大学法人埼玉大学早期卒業に関する規則

〔平成20年6月12日
規則第51号〕

（趣旨）

第1条 この規則は、国立大学法人埼玉大学学則第47条の2第2項の規定に基づき、埼玉大学における早期卒業に関し、必要な事項を定める。

（早期卒業の要件）

第2条 早期卒業するためには、各学部で定める卒業に要する単位を修得し、かつ、成績優秀であることを要件とする。

（早期卒業の時期）

第3条 早期卒業の時期は、3年次終了時又は4年次前期終了時とする。

（早期卒業の申請・認定）

第4条 早期卒業を希望する者は、3年次前期末に所属学部長にその旨を申し出なければならない。

2 所属学部の教授会は、早期卒業希望者の申し出に基づき、審査し、早期卒業の認定を行う。

（早期卒業の実施等）

第5条 早期卒業の実施及び早期卒業に関し必要な事項は、各学部において別に定める。

附 則

この規則は、平成20年6月12日から施行する。

資料 1-2-4 埼玉大学成績優秀者奨学金規則（抜粋）

○国立大学法人埼玉大学成績優秀者奨学金規則

平成19年10月25日
規則 第 8 2 号

改正 平成 20. 4. 1 20規則33

(目的)

第1条 国立大学法人埼玉大学に埼玉大学成績優秀者奨学金（以下「奨学金」という。）を設け、成績等優秀者に学業奨励資金としての奨学金を給付することにより、優秀な学生の受け入れ及び在学生の更なる学業成績の向上・活力の醸成を図ることを目的とする。

(奨学金の種類等)

第2条 奨学金の種類等は、別紙のとおりとする。

2 授与した奨学金は、返還を要しない。

(奨学金授与者の決定)

第3条 奨学金授与者は、別紙の選考基準に基づき、学長が決定する。

(事務)

第4条 奨学金に関する事務は、学務部学生支援課が処理する。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、奨学金の授与等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成19年10月25日から施行する。

附 則（平成20. 4. 1 20規則33）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

資料 1-2-5 奨学生証書授与式の様子（抜粋）



埼玉大学成績優秀者奨学金・奨学生証授与式を行いました

2008/5/23

平成20年5月23日(金)、学長はじめ役員等列席の下、埼玉大学成績優秀者奨学金・奨学生証授与式が学長室において行われました。

埼玉大学成績優秀者奨学金は平成20年度に創設されたもので、今回が初めてとなる授与式では、今年4月に入学した1年次生の中から、入学試験の成績に基づき、各学部から選出された13人の学生に、上井喜彦学長より一人ひとりに奨学生証が手渡され、その後、上井学長から、これを励みにしっかり勉強してほしいとの言葉が述べられました。

奨学生のみなさんにはそれぞれ25万円の奨学金が授与されます。

【奨学生の内訳】

埼玉大学奨学金 教養学部2人 教育学部3人 経済学部2人 理学部2人 工学部3人
企業奨学金(楠木佳一奨学金) 理学部1人



上井学長から奨学生証を受け取る奨学生



上井学長から奨学生へのメッセージ

埼玉大学ニュース一覧へ このページのトップへ

このホームページは、埼玉大学広報委員会が管理しています。
リンクされている各ページの内容に関するお問い合わせは、それぞれのお問い合わせ先にお問い合わせいたします。

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学総務部総務課

©Copyright Saitama University. All Rights Reserved.

(出典：「埼玉大学ホームページ」)

http://www.saitama-u.ac.jp/news/20080523.html

資料 1-2-5 奨学生証書授与式の様子（抜粋）



埼玉大学奨学生証授与式を行いました

2009/3/27

平成21年3月27日(金)、学長はじめ役員等列席の下、埼玉大学成績優秀者奨学金・奨学生証授与式が学長室において行われました。

埼玉大学では、成績優秀者に学業奨励資金としての奨学金を給付することにより、優秀な学生の受け入れ及び在学生の更なる学業成績の向上・活力の醸成を図っています。

今回の授与式では、今年度の学生表彰受賞者のうち、特に顕著な成果を上げた学生又は社会貢献等に特に顕著な成果を挙げた学生に、また、理学部、工学部所属の今年度4月に第1年次に入學した学生のうち、1年次の成績に基づいて在籍する学部が定める選考基準により学部長から成績優秀者として学長に推薦された学生に、上井喜彦学長より一人ひとりに奨学生証が手渡されました。

その後、上井学長から、これを励みにしっかり勉強してほしいとの言葉が述べられました。

奨学生のみなさんにはそれぞれ25万円の奨学金が授与されます。

【奨学生の内訳】

クレディセゾン・カード奨学金 理工学研究科1人 教育学部1人
越山勇奨学金 理学部1人 工学部1人



上井学長から奨学生証を受け取る奨学生



学長を囲んでの記念撮影

埼玉大学ニュース一覧へ このページのトップへ

このホームページは、埼玉大学広報委員会が管理しています。
リンクされている各ページの内容に関するお問い合わせは、それぞれのお問い合わせ先にお問い合わせいたします。

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学総務部総務課

©Copyright Saitama University. All Rights Reserved.

(出典：「埼玉大学ホームページ」)

http://www.saitama-u.ac.jp/news/20090330.html

資料 1-2-6 埼玉大学発展基金による成績優秀者奨学金の取扱いについて（抜粋）

○埼玉大学発展基金による成績優秀者奨学金の取扱いについて

(目的)

第1条 国立大学法人埼玉大学に埼玉大学成績優秀者奨学金（以下「奨学金」という。）を設け、成績等優秀者に学業奨励資金としての奨学金を給付することにより、優秀な学生の受け入れ及び在学生の更なる学業成績の向上・活力の醸成を図ることを目的とする。

(奨学金の種類等)

第2条 奨学金の種類等は、別紙のとおりとする。

2 授与した奨学金は、返還を要しない。

(奨学金授与者の決定)

第3条 奨学金授与者は、別紙の選考基準に基づき、学長が決定する。

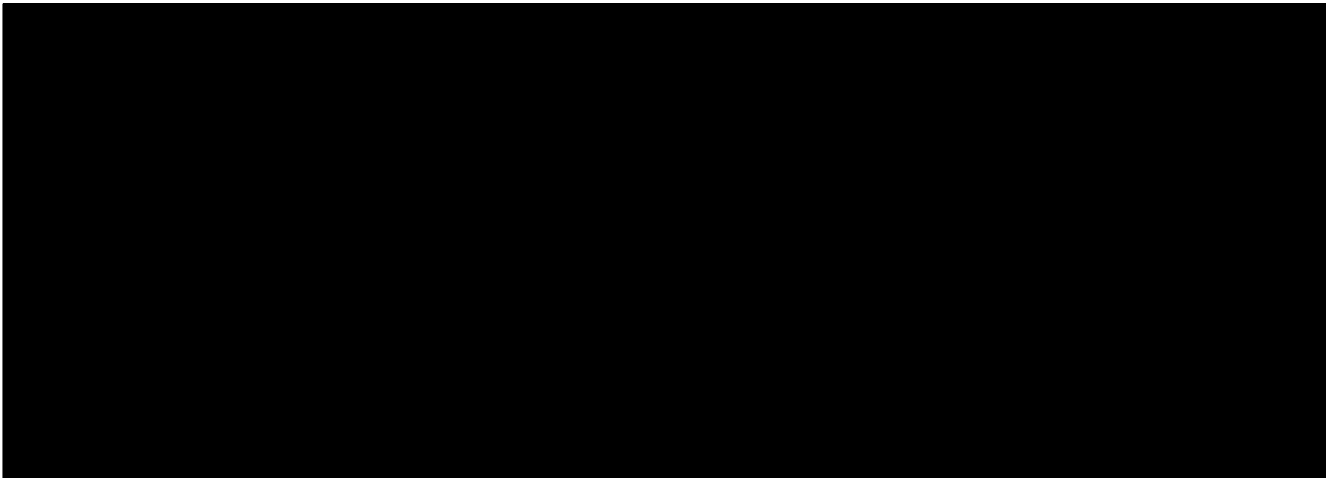
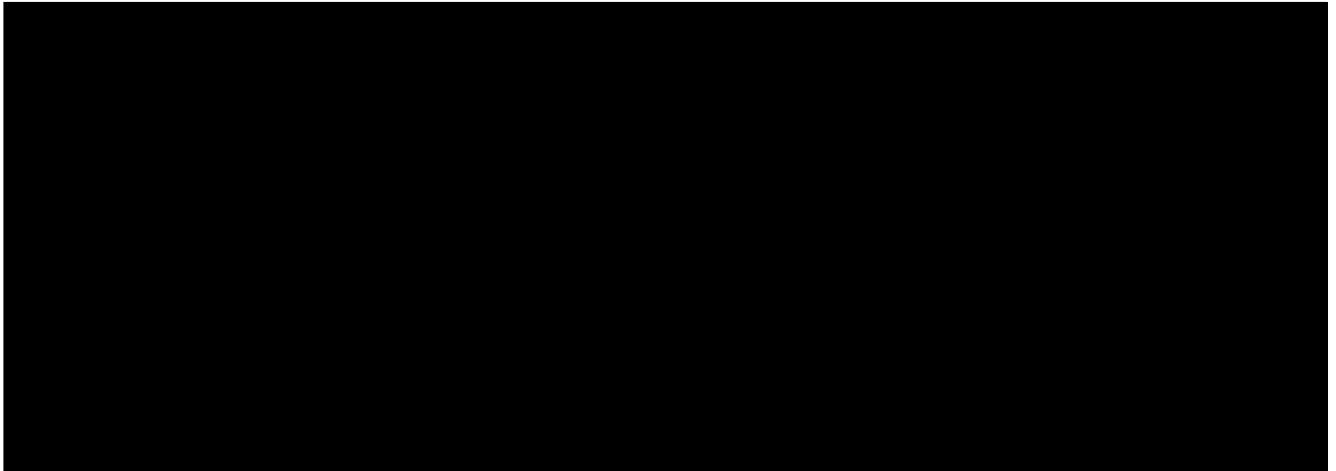
(事務)

第4条 奨学金に関する事務は、学務部学生支援課が処理する。

附 則

この取扱いは、平成21年1月1日から施行する。

資料 2 - 2 - 1 平成20・21年度 共同研究・
受託研究受入件数・金額等



(出典：「平成22年4月22日開催 平成22年度第2回全学運営会議
資料」 P 8 - 9)

資料3-1-1 教員免許状更新講習パンフレット（抜粋）

教員免許更新講習会（試行）のご案内

下記の教員免許状更新講習（試行）を受講しますと、平成21年度開始の更新講習（本格実施）で最初の対象者（昭和30年度、40年度、50年度生まれの方）につきまして、平成21年度からの更新講習の受講が免除される予定です。更新講習がすべて免除されるには、「最新事情領域」（必修）を2日間、「指導領域」（選択）を3日間受講し、すべての（修了）試験の合格が必要となります。必修のみの受講、必修のほか、選択1日あるいは2日間の受講でも、修了試験に合格した部分が免除となる予定です。選択のみの受講はできません。埼玉大学会場での「指導領域」については、1日に2講座開設いたしますので、第一希望をお知らせください。

受講希望者は、裏面の方法にしたがって応募ください。なお、応募者が定員を上回った場合には、抽選で決定させていただきます。申込締切は、6月13日（金）（埼玉大学必着）です。受講の可否については、6月23日（月）までに連絡いたします。

* 正式名称は「教員についての客観並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項」
** 正式名称は「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」

更新講習（試行）の実施要領の概要

受講料：無料

受講資格：昭和30年4月2日～31年4月1日、昭和40年4月2日～41年4月1日、昭和50年4月2日～51年4月1日生まれ埼玉県内に勤務する現職教員

◆埼玉大学会場 定員120名

- 8月20日（水）：指導領域（選択）「教材・授業づくりのアイデア」（A）
指導領域（選択）「確かな学力の向上に向けた授業づくり」（B）
8月21日（木）：指導領域（選択）「芸術と人間」（C）
指導領域（選択）「レゴブロックで学ぶ身近な計測制御技術」（D）
8月22日（金）：指導領域（選択）「ことばのしくみ」（E）
指導領域（選択）「電気分野における科学技術教材の研究」（F）
8月25日（月）：最新事情領域1（必修）
8月26日（火）：最新事情領域2（必修）

◆秩父市福祉女性会館 定員20名

- 8月4日（月）：指導領域（選択）「ICT活用指導力の本質と授業アイデア」（G）
8月5日（火）：指導領域（選択）「文字の文化史及び書写指導の方法と実践」（H）
8月6日（水）：指導領域（選択）「メディアとアイデンティティ」（I）
8月7日（木）：最新事情領域1（必修）
8月8日（金）：最新事情領域2（必修）

連絡先
338-8370 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学 教育学部内 教員免許センター設置準備室
電話 048-858-9235 FAX 048-858-3690 E-mail: menkyo@gr.saitama-u.ac.jp

資料3-1-1 教員免許状更新講習パンフレット（抜粋）



平成21年度

埼玉大学免許状更新講習のご案内

本学は免許状更新講習を受講される方々の課題意識や利便性を第一に考慮し、講座を用意しました。30時間（必修12時間、選択18時間）の講習をたくさんのメニューから選べる更新講習のワンストップサービスを目指します。

開講期間 8月17日（月）～8月28日（金）の土、日を除く10日間
（講習を30時間分受講する場合は、5日間で受講できます。）

受講対象者 普通免許又は特別免許状を有する現職教員等で以下の生年月日に該当する方

- 昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生
○ 昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生
○ 昭和50年4月2日～昭和51年4月1日生

講習会場 埼玉大学（さいたま市桜区下大久保255）
埼京線「南与野」駅下車 バス10分／京浜東北線「北浦和」駅下車 バス15分
※大学内の駐車場は利用できません。

申込み方法 Web予約（埼玉大学のHPから行います。）【郵送等での受付は行いません。】

申込み期間 4月20日（月）～5月21日（金）

受講費用 必修講座 1講座（12時間） 12,000円
選択講座 1講座（5時間） 6,000円

講習内容等 別表のとおり

（詳細は埼玉大学のHPでご確認下さい。）



資料3-1-2 教員免許状更新講習受講者数・開講本数

平成20年度予備講習（試行）の概要

予備講習（試行）は、埼玉大学会場と秩父会場の2箇所で開催

○埼玉大学会場

日時：平成20年8月20日（水）～22日（金）、25日（月）、26日（火）

- 必修 2日間（2時間×6コマ＝12時間を2日間にわたり実施）
➢ 選択 3日間（1講座6時間で、合計6講座を実施）

場所：埼玉大学

受講者数：150名（当初の定員120名のところ、応募者が多数のため増員）

担当講師：本学教育学部教員（必修7名、選択6名、計13名）

○秩父会場

日時：平成20年8月4日（月）～8日（金）

- 必修 2日間（2時間×6コマ＝12時間を2日間にわたり実施）
➢ 選択 3日間（1講座6時間で、合計3講座を実施）

場所：秩父市福祉女性会館

受講者数：30名（当初の定員20名のところ、応募者が多数のため増員）

担当講師：本学教育学部教員（必修7名、選択3名、計10名）

（出典：平成20年8月29日 埼玉大学教員免許センター主催
教員免許更新講習予備講習実践事例発表会 発表
「平成20年度教員免許状更新講習会予備講習の実施状況」P2）

資料3-1-2 教員免許状更新講習受講者数・開講本数

（出典：「平成21年9月10日 平成21年度第10回全学運営会議
資料」P7）

資料 3 - 1 - 3 埼玉大学共生社会教育研究センター
所蔵資料に関する覚書

資料 3 - 1 - 4 本学との協定に関する国際協力銀行
プレスリリース（抜粋）

この部分は著作権の関係で掲載できません。

（出典：「（独）国際協力機構（旧国際協力銀行）ホームページ」）